

国立公園に隣接

豊富な湧水

野草中心の牧野

矢板高校放牧場(4.8ha)



自家製飼料製造



エネルギー消費

持続可能な畜産の研究
(3年目)



**斜度が30度以上
急傾斜地の崩壊危険性**

令和6年1月18日
石川県珠洲市の牧場



木村充慶撮影
© withnews 提供

地域に開かれた学校放牧場



SDGs時代の貴重な地域資源



放牧畜産の実践

家畜動物の防災・減災拠点



SDGsブランディングによる
矢高放牧和牛の出荷・販売



研究計画

ビーフダイバーシティ

Beef Diversity



霜降り(A5)から赤身(C1)まで



矢高放牧牛



矢高森森和牛



県営八方ヶ原放牧場

研究計画

昨年までの視察をもとに計画

希望の牧場(福島県浪江町)

もーもーガーデン(福島県大熊町)

放牧場整備



避難訓練の実施

研究計画





木から生まれた
牛のエサ

国産飼料率
47%

企業や他校
と共同研究

高純度セルロース
TDN95%(乾物中)

自家製クラフトパルプ飼料

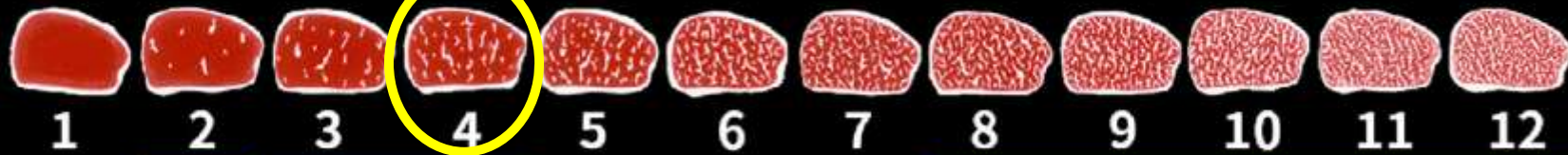
お散歩で ストレス解消

実践



自家製飼料で
健康的に増体

BMS
数値



日本

A1

A2

A3

A4

A5

ビッグミート山久 協力 1頭買いをして地元で販売

実践



少し脂肪は黄色いが
ステーキでも売れる
肉質！！！！



実践

株式会社敷島ファームに依頼 モモ・バラはハンバーグに加工



ふるさと納税返礼品に採用！



矢高森森和牛試食会

那須みやびの里 ホテル森の風



自家製飼料で育て上げた
A5ランクのお肉を堪能

実践

多様な牛肉を地元で消費！！

(ビーフダイバーシティ)

放牧畜産を実践する牧場視察(R5～)

実践



	放牧場名称	面積 (ha)	飼養管理数 (頭)
公 営	八方ヶ原放牧場	30	和牛繁殖28
	豊月平放牧場	32	和牛繁殖31 乳牛育成2
	土上平放牧場	119	乳牛育成129
民 間	小林放牧場	22	乳牛育成60
	森林ノ牧場	8	ジャージ繁殖20
	森林ノ牧場益子	8	ジャージ繁殖10
県 外	希望の牧場	6	被災牛180
	モーモーガーデン	15	被災牛10

条件1：1時間圏内の避難距離

条件2：強固な柵

条件3：餌と水の確保

**イベントや発表会を通して
ブラッシュアップ**

避難訓練の計画を含む SDGs 活動発表で環境大臣賞

実践



壮大だね！

計画の対象となる牛は
3000頭以上います



令和6年5月実施を宣言

避難場所の整備

実践

有事を想定し
重機等を使わない
人力施工を考案

感染症対策のための
ゾーン分けが必要
(栃木県家畜保健衛生所)

餌(草)と水の安全性

実践



水質検査

市水及び
付近のため池

放射性セシウム濃度

放牧場内雑草
飼料作物

令和2年(2020年)改正飼養衛生管理基準 家畜動物への『飲用水の給与』

アニマルウェルフェア的見解から
人間の飲み水と同じ水質基準に



見た目がきれいでも
濾過したとしても
ため池の水はOUT



①A農家実践
矢板市下伊佐野
(避難所より8.8km)

矢板市

塩谷町

②B農家
矢板市塩田
(避難所より2.5km)

③C農家
塩谷町上平
(避難所より13.3km)



JAしおのや管内
家畜動物の避難訓練
令和6年5月23日実施

想定：前日に大地震発生



9:00～ 避難対象牛の移動開始

実践



映像提供：NHK



9:30～ 避難入牧





避難時間

校 内: 17分

A牧場: 32分

B牧場: 19分

C牧場: 55分

指導・講評

農村防災の専門家
川又 啓蔵 先生

ビーフダイバーシティについて

結果・考察



自家製飼料で飼料自給率向上

森林資源・未利用資源由来 20%→47%

放牧牛の再肥育・出荷・販売

赤身肉商品開発・付加価値販売・地産地消

地元にも多様な牛肉を提供

経済性・エシカル消費

家畜防災について

結果・考察



家畜動物の防災計画を策定

放牧場を避難場所に整備

第1回目の避難訓練を実施



PHASE FREE
AWARD 2024
GOLD

フェーズフリーアワード2024 Gold受賞

プレゼンター

フェーズフリーアワード2024

アイデア部門

ゴールド

不仲 美由紀

会社FEEL GOOD CREATION

取締役

Copyright © 2024 All Rights Reserved



より共感できるストーリー



新たな自家製飼料 その名も…「酒粕森森」！



もう一歩先の ビーフダイバーシティへ

SDGs達成に繋がる
ストーリー

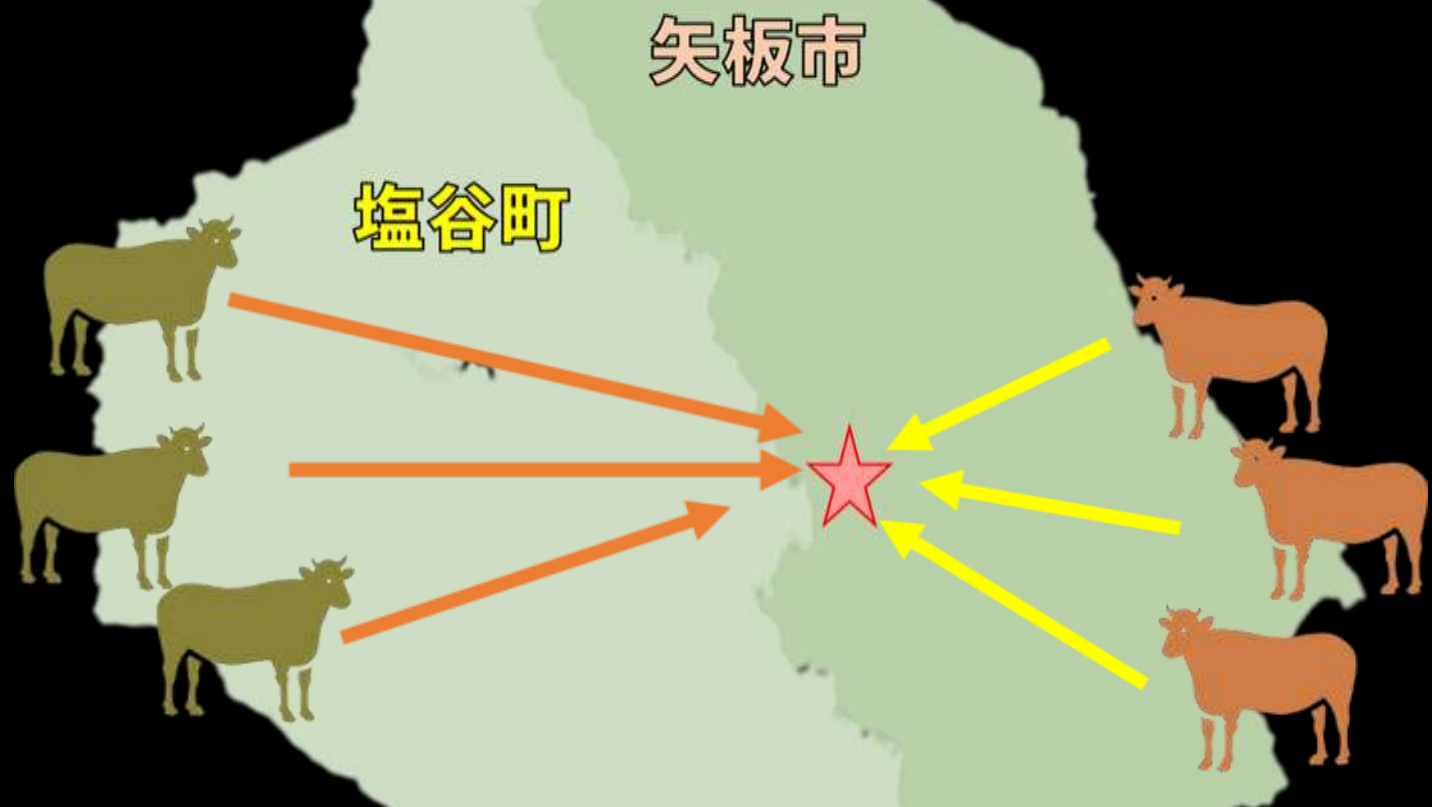


エシカル消費

環境消費

社会消費

地域消費



2回目避難訓練は東西端

避難経路障害 (インフラの脆弱性)

今回使用したルートにも
過去の災害時に
崩落した橋が存在



上太田橋

提供：栃木県建設業協会



実際の避難放牧まで実施 (モニタリング・ストレスチェック)



頸のICTタグで
行動モニタリング



地域資源としての放牧場へ (アニマルウェルフェア・フェーズフリー認証)



放牧場開放
(芝たね団子投げ)



牛だって避難訓練するんだ。



では、私たちは？



命をつなぎ地域を守る放牧場